

第10回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧下さい。

2006年 2月 26日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

jin-ogura@management-dynamics.co.jp

社内で「なぜなぜ分析」のコンテストを実施する場合の評価項目

今までもそうでしたが、この2～3年、特に多くの企業から「なぜなぜ分析」の社内研修や、フォローアップを実施させていただき、大変有難く思っております。

その中で、年に何回かお手伝いさせていただくのが、社内における「なぜなぜ分析」のコンテストの審査員の役回りです。

もちろん審査することが目的ではなく、それをきっかけに的確な論理展開を身につけていただくべく、コメントを述べながら指導することを目的として実施します。

初回のコンテストの場合は、私が 1997年に提言した「なぜなぜ分析」の7つのポイント（「なぜなぜ分析徹底活用術」の99ページの表6・1）を使用して実施します。

しかし、2回、3回と続けていく場合には、それでは物足りないので、2002年に提言した「なぜなぜ分析10則」（「なぜなぜ分析徹底攻略ドリル」および「なぜなぜ分析マスターコース（通信教育）」にて紹介）をもとに、以下の項目で審査します（本当はナイショにしておくべきかも知れませんが、なぜなぜ分析に興味のある方だけにお教えします）。

1. テーマ選定の妥当性
2. 現象の絞込み
 - ・ 実態調査のやり方
 - ・ 発生パターンの見極めと絞込み
3. 「なぜ①」の出し方
 - ・ 発生源における根本的な要因（原理・原則）
 - ・ 地点、時点の分割
 - ・ 作業単位の分割
4. イメージのばらつかない表現での展開
5. 逆から読んでもつながる展開
6. 細かく分けて、しかもモノや事につながりに準じた展開
7. 検証方法の有無
8. 再発防止策の妥当性
9. 時間内での発表
10. 発表のわかりやすさ

以上